

# 畜産みやぎ

題字 宮城県知事 本間俊太郎

発行所

仙台市青葉区上杉一丁目2番16号

法人 宮城県畜産会

電話 (262-9180)

編集発行人 百井英一

定価 1部62円

印刷所 K K東北プリント



「仙台牛」特別賞味会 in 東京 (日本橋ロイヤルパークホテル: 10月23日)

## もくじ

- 「今後の畜産振興に関する懇談会」概要について…… 2
- 畜産振興補助事業(地方競馬全国協会補助事業)について…… 3
- 日本畜産学会東北支部(創立40周年)記念大会の開催結果について…… 3
- 全国競馬・畜産振興会の発足…… 3
- 平成3年度上期の生乳需要状況について…… 4
- 酪農生産基盤強化促進特別事業で全酪農家にアンケート調査を実施…… 4
- 平成3年度上半期NOSA I宮城のET事業実績…… 5
- ディリー・エキスポ視察報告…… 6
- 仙台牛特別賞味会 in 東京を終えて…… 7
- 第31回仙台牛枝肉共進会終了報告…… 7
- 第10回東北地区ホルスタイン共進会終了報告について…… 8
- 平成3年度宮城県総合畜産共進会盛會裡に終了…… 8
- 系統豚三元交雑豚(LWD)の蛋白質および脂肪蓄積能力の発育時期別,性別比較…… 9
- 豚伝染性胃腸炎について…… 10
- 随想…… 10

## 「今後の畜産振興に関する懇談会」概要について

宮城県畜産課

牛肉の自由化に代表されるように畜産の国際化が急速に進展する中で、産地間競争の激化や担い手の不足・高齢化が進むなど本県畜産を取り巻く状況は大きく変化しようとしており、新しい時代への対応が強く求められています。

こうしたことから、今回(10月14日)、生産から流通までに関係する団体が一堂に会して、畜産主産県として今後も発展して行くための意見交換をすることになりました。

当日は、お忙しい中、12団体からの出席をいただき、時間をオーバーするほどの活発な会合となりました。その概要は、次のとおりでした。

### ○ 肉用牛振興対策について

- ・里づくりには環境問題で畜産サイドからだけではなく、耕種サイドを含めた議論が必要ではないか。
- ・「仙台牛」生産でも地域差があり、地域に応じたレベルアップが必要で、画一的事業では進んだ農家・地域は満足しない。
- ・和牛改良組合などの活動にも地域差があり、目標をたてた組織活動に対する助成や誘導策が大切ではないか。
- ・オーナー制度のように都市からの資本、人材を農村に導入する方策を考えるべきではないか。
- ・高齢化が進む中で、人づくりが最も重要だが、具体的な方策はないか。
- ・消費者を巻き込んだ共進会など畜産イベントをする施設が必要ではないか。
- ・都市の人々は農村生活に憧れを持っている、都市と農村の間を吹く強い風が必要だ。

### ○ 農家養豚活性化対策について

- ・最近の養豚生産は国際的な動き(台湾の環境問題、東欧の食肉不足など)による影響が大きい。
- ・日本の食肉事情には、豚肉固有のニーズが有り、

今後とも消費者ニーズに合った国内生産が必要。

- ・環境対策は、個々の対応では限界があり、市町村、農協等が積極的に手をさしのべる必要がある。
- ・一貫経営農家がこれ以上減少するとせっかくの系統豚も活躍する基盤が狭まってしまう心配がある。
- ・価格の不安定さが生産意欲を失わせる、価格安定制度の買入れ活動を迅速にやるよう要望して欲しい。
- ・養豚経営は一度中止すると再開する可能性が低い、利益を大きくすることが後継者対策になる。
- ・オーエスキー病などで種豚の流通が少なく、肉質低下が心配される。系統豚以外の在来豚に対する種豚確保などの振興策が必要ではないか。
- ・ふん尿処理施設の改善、能力アップなどに対する助成が必要ではないか。




### ○ 酪農・養鶏振興対策について

- ・酪農経営では、個体販売の減収が大きく、乳牛複合経営などの導入を検討する必要がある。
- ・家畜共済事業のなかでも廃牛価格の低下が大きな問題となっている。(平均6万円程度)
- ・受精卵移植の普及にはセンター型、団地型の活用体系の検討が必要ではないか。
- ・養鶏については、鶏糞処理が大きな問題であるが、企業による寡占化が進む状況も大きな問題である。

以上のようにいろいろな意見が出されました。今後、これらの意見を参考に、本県畜産の施策展開や関係機関への要望などに活用させていただくことにしました。

また、今後ともこの様な機会を定期的に開催することにして盛会裡に終了いたしました。

(畜産経営係長 氏家清明)

 <p>豚の活力を維持する 健康維持飼料</p> <p>くみあい <b>強健シリーズ</b></p> <p>人工乳・子豚用・肉豚用・種豚用</p>  <p>農協・宮城県経済連・全農</p>	<p>正統の育ちと味</p>  <p>仙台牛銘柄推進協議会</p> <p>仙台市青葉区上杉1-2-16宮城県経済連食肉販売課内 TEL.022(264)8449-50</p>
--	---

### 畜産振興補助事業（地方競馬 全国協会補助事業）について

宮城県畜産課

日本の競馬は、競馬法に基づいて開催されており、中央競馬会が開催する中央競馬と、県、市及び事務組合が開催する地方競馬があります。このうち、地方競馬では売上金の一部（約1.1%）が地方競馬全国協会を介して、地域畜産の振興を図るための助成金として交付されています。

地方競馬全国協会は、昭和37年4月の競馬法一部改正に伴って同年8月に発足して以来、地方競馬の公正確保業務（発走及び裁決）、競馬場の施設改善及び馬のドーピング検査等に対する助成のほか、畜産関係団体が実施する、馬の改良増殖その他畜産の振興に資するための補助事業（畜産振興補助事業）を実施してきました。

畜産振興補助事業は、①馬の改良増殖推進事業、②畜産経営技術指導事業、③畜産経営合理化事業、④家畜畜産物流通合理化事業、⑤その他畜産振興事業の5つに区分されており、平成2年度には全国で74億9千万円の補助金が交付されていますが、本県には4千5百万円が交付されました。

本県では、畜産会の経営診断指導事業、県畜産総合共進会、仙台牛枝肉共進会、畜産普及啓蒙イベント、公共牧場整備促進、めん羊導入、肉用牛群改良推進、市場上場馬インフルエンザ予防接種のほか、地方競馬振興のための看板設置などが実施されました。これらの事業のうち、特に重要と思われる事業に対しては、宮城県も助成しています。

今後の新規事業として観光を取り入れた公共牧場の整備や、畜産環境の美化推進なども制度化される予定ですので、積極的な活用を推進したいと考えています。

### 日本畜産学会東北支部（創立40周年）記念大会の開催結果について

宮城県畜産課

東北六県の畜産関係者が一堂に会し学術交流及び情報交換を行う本大会が8月29日・30日仙台サンプラザで開催され、2日間で600人の参加者があり、盛会のうちに終了しました。

一般講演では、45題の演題が発表され、津田東北大学名誉教授の記念講演「家畜の功罪」とシンポジウム「地域の特性を活かした肉用牛の課題と展望」に参加者の関心が集まりました。また、宮城県農業公社の星卓二氏と宮城県生乳検査協会の荒井威吉氏がそれぞれ功労賞、学術賞の表彰を受け、支部賞受賞者講演が行われました。

また、来年は岩手県で開催されることになりました。

### 全国競馬・畜産振興会の発足

宮城県畜産課

現在まで、地方競馬全国協会の畜産振興に関する補助事業はありましたが、中央競馬会による事業はありませんでした。このような状況の中、中央競馬の剰余金を畜産振興関係事業に活用するため、去る10月22日に全国競馬・畜産振興会が設立されました。この会は、中央競馬会法の改正に伴って制度化された「特別振興資金」を運用して、競馬の健全な発展と畜産の振興に資する事業を執行する団体です。

補助事業は「特別振興資金」の取崩し益と地方競馬全国協会からの拠出金によって執行されますが、現在実施されようとしている事業は、農業構造改善関係と林産振興関係の事業で、畜産関係事業は現存している畜産総合対策事業など他事業との調整が必要なため、制度化するのは来年度以降になる見込みです。

動物用薬品器材のことなら 古い伝統  
と信頼のある東北獣医にご用命下さい

本社 仙台市青葉区上杉3丁目3-8

#### 東北獣医薬品株式会社

TEL (225) 7330・7338・7339

仙台営業所 仙台市青葉区上杉三丁目3-8

022 (225) 7338~9

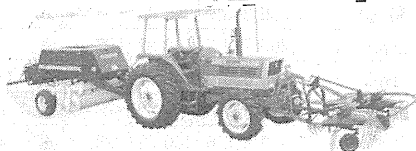
古川営業所 遠田郡小牛田町字関根館野28

0229 (34) 2018~9

仙北営業所 登米郡迫町佐沼字萩洗1

0220 (22) 2278

## WORLD カボウ サンシャイン



### 株式会社 五十嵐商会

仙台市若林区卸町五丁目1番地4

電話(022)236-2525(代表)

## 平成3年度上期の生乳需給 状況について

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

本年度上期における全国の生乳生産については、酪農家の急速な戸数減少等により計画生産目標を大幅に下回り、前年対比100.2%の微増にとどまった。

その中で、特に都府県の落ち込みがひどく、同年年対比97.4%と極端に減少した。

一方飲用向生乳の需要については、4～5月は102%台で順調な伸びを示していたが、6月以降は低温などの影響で前年同期を下回って推移した。(99.5%)

その結果乳製品向け生乳供給量は上期でほぼ前年水準並となった。(99.9%)

本県における上期の生産状況については、酪農家の廃業や、低温、長雨等の影響により前年対比99.3%、計画対比96.9%と大幅に目標を下回る結果となった。

用途別販売内訳については、飲用向生乳は長雨や低温等の天候不順により前年対比99.9%と若干前年を下回ったが、乳製品向生乳は生乳生産減と相まって前年対比92.4%と減少した。

本年度の本県生乳計画生産出荷目標は、当初184,088t(特別調整乳1,734t含む)でしたが、上期の実績を踏まえ、会員とのヒアリングの結果、下記により修正することになりましたので、酪農生産基盤の強化を図る上からも、出荷目標の達成につきまして特段のご協力をお願い申し上げます。

記

平成3年度生乳計画生産修正出荷目標183,198t

内訳(基礎目標数量 182,354t

特別調整乳数量 844t

(販売課長 竹田良介)

### 平成3年度上期生乳計画生産達成状況

(単位:kg,%)

生産者団体	上 期 計			
	受託乳量	前年比	計画比	超過乳量
蔵王酪農	17,065,560.5	99.93	99.96	▲ 7,439.5
宮城酪農	25,034,033.8	100.94	98.44	▲ 395,966.2
経済連	16,234,502.0	96.76	94.15	▲ 1,008,498.0
仙台酪農	3,405,158.0	94.15	90.47	▲ 358,842.0
県酪農	14,536,208.0	98.48	94.74	▲ 807,792.0
栗原酪農	4,268,712.0	100.82	97.70	▲ 100,288.0
登米酪農	3,496,636.0	99.91	96.86	▲ 113,364.0
本吉酪農	3,094,630.0	100.35	97.47	▲ 80,370.0
遠田酪農	2,443,555.0	100.02	98.13	▲ 46,445.0
山田酪農	951,003.5	103.90	99.79	▲ 1,996.5
合計	90,529,998.8	99.26	96.87	▲ 2,921,001.2

(注) 計画比並びに超過乳量は出荷目標(特別調整乳含む)数量対比である。

## 酪農生産基盤強化促進特別事業で 全酪農家にアンケート調査を実施!!

宮城県生乳販売農業協同組合連合会

平成3年2月1日調査の農林統計によれば、全国の乳牛飼養戸数は、59,800戸(うち宮城県2,430戸)と昨年より全国で3,048戸(うち宮城県218戸)戸数が減っています。

生乳販連が、今年8月1日調査による、本会会員酪農組合の生乳出荷戸数は、1,964戸(本会2月1日調査2,058戸)と半年の間に、94戸の酪農家が減っており、これは全国的に減少傾向になっています。

このような酪農情勢に対し、国は全国の酪農家の酪農生産基盤の現状と問題点を調査、抽出し今後の酪農生産基盤強化対策を図るため、酪農生産基盤強化促進事業で、全酪農家に対しアンケートによる基盤調査を実施することになりました。事業は、事業実施主体の全中から、中央酪農会議が事業の委託を受け、本県では、生乳販連が窓口になり、県内の酪農家のアンケート調査を実施します。

主な調査項目

- ①仕事、家族について
- ②酪農の仕事量、労働力について
- ③酪農経営の規模について
- ④酪農経営のやりかたについて
- ⑤酪農経営の問題点と今後の経営方針について

以上の項目により、酪農家に選択記入方式でアンケートに回答してもらいますが、今回の調査は全酪農家のアンケート回収が、義務付けられているため、調査に当たって酪農協、農協の担当者のご協力がなければなりませんので、よろしくお願い致します。

調査結果については、中央酪農会議で取りまとめをし、来春には報告がされる予定となっていますので、報告に基づいて、本県の酪農生産基盤強化の方策を、関係者で協議し、その結果をあらためて、皆さんにご報告をしたいと思ひます。

(指導課 佐々克仁)



クスリの総合卸

株式会社 **イーシン**

取締役社長 山田 修造

本社(畜産課) 仙台市若林区卸町2丁目10-3

☎(022)284-8111 F A X (022)284-8127

古川市福浦字道の137-1 ☎(0229)24-1211

## 平成3年度上半期NOSA I宮城のET事業実績

### NOSA I宮城

NOSA I宮城で実施しています受精卵供給センター整備事業は県畜産課、畜産試験場等の御指導の下、関係団体と協力し、平成元年度より県内全域で進めています。本事業は受精卵供給施設を活用し、県内に散在する農家等が飼養する供卵牛から受精卵を効率的に採取し、農家に供給し移植するとともに、本技術の普及定着を図ることが目的です。具体的な方法の概要は、県内9カ所のNOSA I宮城の家畜診療所と家畜診療研究所の獣医師が協力し、ETチームを作り農家の保留牛に過剰排卵させるホルモン処理を施す。そして7日後、子宮内においてきた受精卵を灌流液にて回収する。さらに一連の受精卵の処理が農家の庭先で対応できるET車内で、回収した受精卵を良好なものの順に検卵、上ランクのものは凍結処理し、凍結精液と同様な形で、液体窒素にて保管しておく。その後、適時受精卵移植師を通し、希望する農家に移植している状況です。

さて、平成3年度上半期のET事業実績(①採卵実施状況、②移植実施状況)は(表)に示した通りです。

#### ① 採卵実施状況

9月末までに86頭から採卵したが、全体の84%72頭を肉牛、特に黒毛和種が占め、乳牛からの採卵が少ない傾向があります。これは肉牛の場合、親の血統が重視され、特に雄雌の受精卵の価値の差が少ない。しかし、乳牛の場合、親の能力に加え、その後の飼養管理技術の差、さらに特別な牛を除き、雌の受精卵のみが酪農家では必要であるという点で、この実施状況の差が出たものと考えています。

#### ② 移植実施状況

9月末までに県内全域で238頭実施しております。移植した受精卵のうち75%は新鮮卵で、25%は凍結卵を使用しました。10月18日現在の妊娠確実の受精卵移植牛は県内全体で76頭です。

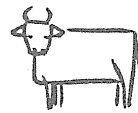
現在のところET事業は仙台市近郊、大崎地区、石

巻地区で順調に進捗しております。特に乳牛に黒毛和種をETし、出生子牛の販売価値を高めたり、酪農から肉牛へと経営転換を図ろうとする事例。また、自家牛の高能力牛から、更に能力アップの系統を目ざすためETを活用している事例があります。「畜産危機」といわれる現在、畜産農家はETという新技術に期待していることが日増しに高まっていることを認識し、早期にこの技術を定着させたいと願っています。今後とも関係各位のご理解、ご協力を賜りたい。

(NOSA I宮城家畜部次長 矢崎 薫)

#### 平成3年度(9月末)の事業実績

家畜診療所	採卵実施状況			移植実施実績		
	肉牛	乳牛	計	新鮮卵	凍結卵	計
白石	6	2	8	20	12	32
角田	3	0	3	5	1	6
名取	18	4	22	55	20	75
大衡	4	2	6	5	7	12
古川	19	5	24	29	15	44
築館	0	0	0	0	2	2
迫	6	0	6	11	1	12
本吉	3	3	6	10	0	10
石巻	13	1	14	42	3	45
計	72	14	86	177	61	238



畜産の健康と未来に貢献する

獣医用薬品・畜産用医薬品・ワクチン・器具機材

## 小田島商事株式会社

本社 岩手県花巻市卸町66番地  
TEL 0198 004151(代)

古川営業所 古川市清水字周防10-1  
TEL 0229-26-4567

花巻営業所 水沢営業所 青森営業所  
盛岡営業所 大館営業所 八戸営業所  
大船渡営業所 横手営業所 山形営業所  
酒田営業所 福島営業所

STAR スター農業機械

## マニュアルプレッタ

倍角ステアリングで  
ラクラク作業

TBM1550+A DW1800  
(倍角ステアリングボディ) (ディスプレイータ)

スター農機株式会社 仙台営業所  
〒985 多賀城市町前2丁目87 TEL 022-367-4573

### ディリーエキスポ視察報告

NOSA | 宮城古川畜産診療所 千葉正寛

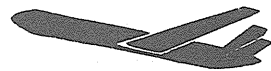
平成3年9月26日より10月6日まで、米国イリノイ州とウィンスコンシン州を訪ねる機会を得、全国各地から総勢25名の獣医師とともに参加した。このツアーは「イリノイ大学特別セミナーとワールド・デイリーエキスポ見学」と銘打たれたもので、獣医学領域の専門家（主にイリノイ大学教授）8名による講義が主体であった。その講義についての詳細は別の機会に譲ることにして、今回は「世界最大の乳牛共進会」と言われている「ワールド・デイリーエキスポ」について述べてみる。




開催地のウィンスコンシン州都であるマジソンは、シカゴの北北西250kmに位置し、バスで3時間余にある小さな湖（Lake Mondota. lake Monona）にはさまれた、小じんまりとした清楚な街並をもった都市である。又、東方には、ビールでおなじみのミルウォーキーまで75マイルほどの距離であるということであった。緯度は、北海道道南と同等で、気候的にも似た様相であり、セーターを重ね着しなければならないほど寒く、我が宮城県に於る晩秋の感を呈していた。米国酪農の基礎を築いた中北部は、氷河期の大洪水により肥沃な表土に覆れた、地平線の確認できるコーンベルト地帯の中核を占め、19世紀には酪農が導入された。その後バター、チーズ等の食品工場の設立とともに本格的な酪農地帯へと変遷し、乳牛の改良事業にも力が注がれ数多くの「ブリダー」を輩出している。このような地に世界最大の規模の共進会が開催されることに、納得のゆく歴史を持っていたのである。

第25回目にあたる今年の開催期間は、10月2日から6日までの5日間で、我々が訪れた10月4日は生憎の雨模様であり、次第に強くなる風雨に悩まされた。主会場のダーン、カントリーコロシウム内部は、程良い照明とクラシック調のデコレーションを配し、重厚なイメージを作りあげていて、その長い歴史と関係者各

位の努力とがうかがわれた。期間中はプログラムに沿った運用で進行されていたが、当日は8:00から「ブラウンスイスショー」、12:00からは「ホルスタインショー」が実施され、乳房、体型、品位等いずれ劣らぬ名牛ばかりであった。特に歩行、停止等の調教には目を見張るものを感じた。コロシウム内の三階にわたる外周路（コンコース）は、酪農に関したあらゆる会社の展示や説明の行われるコーナーとなっていた。又、近くの広場には、かなり大きな仮設テント数棟が設けられ、酪農機器、作物種苗、粗飼料から、改良、獣医薬品、コンピューター、書籍にいたるまで、おおよそ畜産に関する全ての会社や関係機関の展示場となっていて、その数は700社を越えるものとなっているということであった。開催期間中に、外国人招待客2,400名と、65,000人程度の観客が訪れるということであったが、日本からの酪農関係者や観光客の姿も散見された。

一日だけの視察で所感を述べることは非常に難しいことであるが、米国の畜産に対する情熱と、畜産に携わる機関、会社、人々のたゆまぬ努力、又、常に上昇思考を持った意志とを漠然ながら感じ取って来た次第である。さらに、競争社会の中で、常により上の状態に立とうというお互いの暗黙の諒解とコンセンサスが成り立っていることも理解できた。我々も、限られた資源の中で埋もれることなく、多きな視点で行動しなければ、などと考えながら帰国の途についたのである。



<p style="text-align: center;"><b>ORION</b> ともに前進 技術のオリオン</p> <p style="text-align: center;"><b>酪農家の</b></p> <p style="text-align: center;">声を反映した製品づくりと安心の おけるアフターサービスは オリオングループの誇りです。</p> <p style="text-align: center;"><b>東北オリオン株式会社</b></p> <p>本社 〒983 仙台市若林区鶴代町1番68 ☎(022)284-0691</p> <p>宮城営業所 古川市福浦字道の106番1号 ☎989-61 TEL古川(0229)23-1631</p>	<p style="text-align: center;"> 飼い上手 育て上手は…… みのたに……で</p> <p style="text-align: center;"> </p> <p style="text-align: center;">動物薬品・獣医器具総代理店 <b>株式会社 美濃谷</b></p> <table border="0" style="width: 100%;"> <tr> <td style="width: 10%;">本店</td> <td style="width: 60%;">山形市蔵王成沢字町浦491~2</td> <td style="width: 30%;">TEL883121</td> </tr> <tr> <td>山形店</td> <td>山形市太白区山田字羽黒堂5番216</td> <td>TEL294306</td> </tr> <tr> <td>仙台店</td> <td>仙台市太白区山田字羽黒堂5番216</td> <td>TEL294306</td> </tr> <tr> <td>鶴岡店</td> <td>鶴岡市大字布目字東通り57-1</td> <td>TEL240963</td> </tr> </table>	本店	山形市蔵王成沢字町浦491~2	TEL883121	山形店	山形市太白区山田字羽黒堂5番216	TEL294306	仙台店	仙台市太白区山田字羽黒堂5番216	TEL294306	鶴岡店	鶴岡市大字布目字東通り57-1	TEL240963
本店	山形市蔵王成沢字町浦491~2	TEL883121											
山形店	山形市太白区山田字羽黒堂5番216	TEL294306											
仙台店	仙台市太白区山田字羽黒堂5番216	TEL294306											
鶴岡店	鶴岡市大字布目字東通り57-1	TEL240963											

### 仙台牛特別賞味会 in 東京を終えて

#### 仙台牛銘柄推進協議会

去る 10 月 23 日 東京日本橋 ロイヤルパークホテルにおいて、仙台牛特別賞味会を開催いたしました。

この賞味会は、消費者への直結した普及活動の一環として、これまで仙台で開催してきましたが、今回は初めて東京に進出しました。

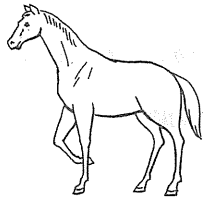
賞味会には、宮城県出身者を含む首都圏の有力企業の管理職を招くとともに、宮城県の丹野諒二出納長及び来賓の方々 200 名ご出席の中、盛大に開催いたしました。

今回は、仙台牛の特別メニューとして、ステーキ、しゃぶしゃぶ、ローストビーフ、さしみをご紹介します、参加者は高級霜降牛肉のおいしさに、舌鼓をうち、大変好評でした。

現在、協議会では、仙台牛を食べさせるレストラン部門の「提供店」を県内で 22 店、首都圏・中京地区に 8 店、また、仙台牛を販売している小売部門の「指定店」を県内で 101 店、東北・北海道地区で 15 店、関東地区 86 店、中京地区 22 店を認定しており、今後首都圏における提供店の拡充を図っていく方針であります。

(木村 伸)

### 畜産振興の明日を担う地方競馬



#### 地方競馬全国協会

### 第 31 回仙台牛枝肉共進会終了報告

#### 宮城県経済連

農林水産祭参加第 31 回仙台牛枝肉共進会は、11 月 4 日～7 日の 4 日間、仙台中央食肉卸売市場において開催され、盛会裡に終了いたしました。

#### ◎チャンピオン

- 第 1 部 黒毛和種去勢の部 (30 ヶ月令未満)  
米山町農協 石崎 一
- 第 2 部 黒毛和種去勢の部 (30 ヶ月令以上)  
南方町農協 村田敏顕
- 第 3 部 黒毛和種雌の部  
蔵王町農協 佐藤光広

#### ◎販売成績

区分	頭数	平均枝肉重量 (kg)	仙台牛率 (%)	枝肉単価 (円/kg)		
				高値	安値	平均
第 1 部	50	429.4	50.0	7,250	1,487	2,670
第 2 部	120	433.6	58.0	10,643	1,236	2,745
第 3 部	30	351.6	73.0	7,212	1,667	3,070

注) 仙台牛率とは、規格 A-5、B-5 率をさす。

(食肉販売課 小関敏彦)

### 来客 接待に牛乳を!!

県産牛乳の需要拡大を図る為、各団体並びに生産者団体におかれましては、会議、来客等に、従来のお茶に変わり牛乳をご利用下さるようお願い申し上げます。

#### 宮城県牛乳普及協会

仙台市青葉区錦町一丁目 6 番 5 号 ☎022(263)7688



#### ビフィズス菌は

ヨーグルト中の乳酸菌の働きは、どれも同じではありません。  
活きたまま腸までとどきます。

# ビヒダス®

プレック

## ヨーグルト 500ml

宮酪乳業株式会社 名取市飯野坂五丁目 1 番 3 号 ☎(022) 384-5181

#### 発育促進・食欲増進・栄養補給に

# バイミルク

### ビタミン・ミネラル総合飼料添加剤

## 日本全薬工業株式会社

### 第 10 回東北地区ホルスタイン 共進会終了報告について

#### 宮城県ホルスタイン協会

東北地区ホルスタイン改良協議会主催による第 10 回東北地区ホルスタイン共進会が、県並びに関係団体のご支援、ご協力の下、去る 9 月 27 日～28 日の 2 日間岩手県経済連中央家畜市場で開催され盛会裡に終了しました。

本共進会出品牛は各県で選抜された特に優秀な種畜で体型、資質、能力共にすぐれた甲乙つけがたい出品牛でありました。

その中で酪農経営に寄与するところ多大な多回検定の部において名誉賞を受賞した事は大変意義のあることでした。

また併せて一堂に会した酪農家の交流と後継者育成の場として活用できたことはよろこばしい事でありました。

絶大なるご支援、ご協力をいただきました。県、関係団体に対し紙面をお借りし衷心より厚く御礼申し上げます。

尚、宮城県出品中の成績は次の通りです。

(那須正晃)

#### 第 10 回東北地区ホルスタイン共進会宮城県入賞牛一覧

多回検定の部	名誉賞 903	ハッピーリバーパッチスターニー	南方町 鈴木 清喜
第 1 部	優秀賞 1 席 116	リーチリバープリンスライトホープ	北上町 佐々木敏行
"	" 9 席 129	マルチファームアンテーションビューティ	仙台市 細川 卓朗
"	" 12 席 125	インカインスピレーションジョウ	" 篠 俊晴
第 3 部	優等賞 7 席 318	リラマンティブーツメーカー	北上町 佐々木敏行
第 4 部	優等賞 5 席 402	リーチリバープライドエース	鳴瀬町 及川 富男
"	" 6 席 401	ジーエスファームクリスタン	河北町 佐藤 幸一
第 7 部	優等賞 3 席 707	ハッピーリバーパッチスターニー	南方町 鈴木 清喜
第 8 部	優等賞 3 席 707	ハッピーリバーパッチスターニー	南方町 鈴木 清喜
第 9 部	優等賞 1 席 903	ハッピーリバーパッチスターニー	南方町 鈴木 清喜

### 平成 3 年度宮城県総合畜産 共進会盛会裡に終了

#### 宮城県畜産会

宮城県畜産会主催による平成 3 年度宮城県総合畜産共進会は、県並びに関係畜産団体のご支援、ご協力の下、去る 9 月 19 日～21 日の 3 日間鳴子町川渡家畜市場において盛会裡に終了しましたので、その結果を報告します。

また、今年も昨年に引き続き、一般消費者に畜産に対する理解をより一層深めるため、農畜産物等の展示即売等各種イベントを盛り込んだ内容とし好評を得ておりました。

なお、本共進会において、出品家畜の選定、会場設営、その他種々の運営に当たり県、関係団体及び地元鳴子町の関係者の方々の絶大なるご支援、ご協力に対し紙面をお借りし衷心より厚く御礼申し上げます。

#### 《名誉賞受賞者一覧》

##### 乳用牛の部

- 第 9 区 多回検定 南方町 鈴木 清喜
- 第 3 区 18～22 カ月未満 仙台市 森 裕昭

##### 肉用牛の部 (黒毛和種)

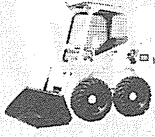
- 第 9 区 改良組合繁殖牛 田尻町 伊藤 孝
- " 柳沢 慶志
- " 後上 孝行
- " 米谷 春彦

- 第 4 区 20～24 カ月未満 田尻町 高橋 拓男

##### 肉用牛の部 (褐毛和種)

- 第 6 区 経産の 2 大和町 堀籠 吉夫

**TCM 東洋運搬機株式会社**



糞尿処理工程のあらゆる局面で活躍。  
畜産農家の近代化に  
作業の省力化に大きく貢献します。  
豊富なアタッチメント。

**TCM 東洋運搬機株式会社**  
東北ディー・シー・エム株式会社  
983 仙台市宮城野区中野字葦畔135-1  
電話 022-259-6351

**KOMATSU**



カンタン操作で、  
飼料も堆肥もラクラク作業

**宮城小松販売株式会社**  
仙台市宮城野区扇町二丁目 1 の 30  
電話 (022) (237) 7441 番代



### < 畜試便り >

## 系統間三元交雑豚(LWD)の蛋白質および脂肪蓄積能力の発育時期別、性別比較

### はじめに

産肉能力に重点を置いて改良された“ミヤギノ”を利用した系統間三元交雑豚(LWD)の去勢と雌豚を用い、体重が30kgから120kgまでの期間、経時的に全屠体分析を行い、発育に伴う蛋白質と脂肪の蓄積能力を性と発育時期別に検討した。

### 材料と方法

ランドレース種として系統豚“ミヤギノ”の第4世代の雌に大ヨークシャー種としてハヤチネWとサクラ401、ゼンノー第5世代の三系統を交配してできたLW雌に、デュロック種としてサクラ201の雄を交配してできた系統間三元交雑子豚、去勢19頭、雌19頭の合計38頭を供試した。体重が30kg、45kg、60kg、75kg、90kg、105kgおよび120kgに達した時点で去勢と雌をそれぞれ2から3頭ずつ屠殺した。屠殺後枝肉の右半丸および胃、大腸および小腸の内容物を除いた消化器管とその他の臓器についてはビニール袋に入れ-30℃で凍結保存した。凍結保存した枝肉と内臓はその後、電動鋸と肉粉砕器を用い完全に粉砕した。粉砕のたびに肉片を十分に混合し、約200gのサンプルを採取して科学分析に供試した。

### 結果

図1には生体重と日齢との関係を示した。体重30kgから120kgまでは去勢雄、雌とも直線回帰が最適な当てはまりを示し、体重105kgの去勢の日齢は158.6日、雌は170.3日と推定され11.7日の性間差が認められた。

次に、生体重と全屠体中水分、脂肪および蛋白質含量の関係を検討した。水分と脂肪含量は指数関係が最適な当てはまりを示し、体重が65kg前後の時期から性差が認められ始めた。即ち、この時期より水分は雌が去勢より多くなり、去勢、雌とも体重が増加するにつれて増加率が小さくなる。一方、脂肪は逆に去勢が雌

より多くなり、両性とも増加率が大きくなった。さらに、蛋白質含量は直線が最も良い当てはまりを示し、同様の時期から雌が去勢より多くなった。さらに、日齢と水分、脂肪および蛋白質含量との関係を検討した。水分と蛋白質については対数関係が最適な当てはまりを示した。そして、去勢と雌でほとんど差が認められないことが明らかとなった。一方、脂肪については、指数関係が最も良い当てはまりを示し、110日齢付近から去勢が雌より脂肪の蓄積量が増加することが明らかとなった。日齢と体重の回帰式から110日齢は去勢では64.7kg、雌では61.5kgである。この様に体重をベースにした場合、去勢と雌の間で差の認められた水分と蛋白質は日齢をベースにすると差が認められなくなった。

次に、蛋白質と脂肪の各発育時期別1日当たり蓄積量を推定した。去勢、雌とも30から45kgの時期がそれぞれ133.1g、121.8gと最も蛋白質蓄積量が多く、その後は去勢雄、雌とも100g前後の値となった。30kgから120kgまで通しても100g以上の蓄積能力があることが示された。そして、いずれの期間でも性間の差は認められなかった。また、脂肪蓄積量は30kgから45kgまでは性差が認められないがその後の期間では去勢雄が雌より多く蓄積することが明らかになった。

以上、系統間三元交雑豚の蛋白質、脂肪蓄積能力を検討したが、これらの結果を基に交雑肥育豚の飼養管理マニュアルを作成する予定である。

(原種豚科長 鈴木啓一)

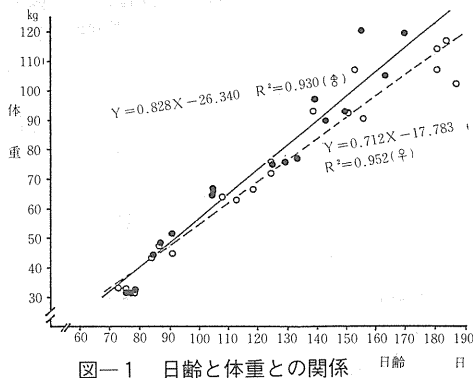


図-1 日齢と体重との関係

飼料は



採卵鶏用配合飼料  
ブロイラー配合飼料 肉牛用配合飼料  
乳牛用配合飼料

北日本飼料株式会社

石巻市川口町3丁目2番8号

TEL石巻 0225 (22) 6111

FAX石巻 0225 (22) 6116

動物用 (牛専用)  
医薬品

トルラミックス

特殊酵母+必須ビタミン+ミネラル配合

株式会社 トーシン

古川市古川字上古川屋敷9番地の1

TEL 0229 (24) 3 2 1 1 (代)

衛生便り

豚伝染性胃腸炎について

豚伝染性胃腸炎 (TGE) は嘔吐、水様性下痢を主徴とするウイルス性の急性疾病で、届出伝染病に指定されています。TGE は年齢に関係なくすべての豚に感染、発病しますが、日齢の若い豚ほど発病率、死亡率が高くなります。また、従来、11月から3月の冬期間に多発し、気温と密接な関係があると言われてきましたが、最近では季節に関係なく発生が認められています。

TGE の発生形態は、流行型、常在型、再発型に分類されています。流行型は初発生地にみられ、冬期間に多発します。常在型は、TGE ウイルスを保有している豚が常に存在している場合で、特に導入の多い大型養豚場で発生がみられます。再発生型は飼養環境の悪い養豚場で毎年冬に発生していきます。

TGE に感染すると、流行型では、嘔吐、下痢、脱水症状がみられ、また、伝染力が非常に強く数日間に多数が発病します。特に哺乳豚では高い死亡率を示します。常在型、再発型では、免疫されている豚がある程度存在するため、発生は散発的となり、子豚も母豚からの免疫効果により一週齢以降に好発し、死亡率も流行型に比べ低くなりますが、発病期間は長くなります。最近では、流行型より常在型、再発型が多く発生しています。TGE に一度感染した豚は、回復後も長期間ウイルスを排泄し続けます。この回復豚の導入や、また排泄されたウイルスが豚や飼料、車両等に付着して本病が伝染していきます。

TGE の予防対策としては、ウイルスを農場に侵入させないことが基本ですので、一般的な衛生管理と導入豚の疫学調査および飼養管理の改善に努めるとともに市販されているワクチンの接種も必要と思われます。

(仙台家畜保険衛生所病理性鑑定課 鈴木正浩)

人の動き

宮城県経済連	10月1日	
退職 (9月30日)	小川 亮一	氏名
新	旧	
畜産総合推進課	大河原支所	一瀬 修三
ミヤギノGGP	ミヤギノGGP	杉山 俊明
センター所長	センター嘱託	
管理課	食肉販売課	目黒 千代
食料課	築館支所	千葉 和典
食肉販売課	自動車課	佐藤かよ子

宮城県生乳販売農業協同組合連合会	11月1日	
退職 (10月24日)	参事	猪狩善三郎

新	旧	氏名
参事 (業務部長兼事業所長)	業務部長 (指導課長兼事業所長)	小幡 克彦
販売課長兼指導課長	販売課長	武田 良介

随想

生き生きした家畜の顔

ホルスタインの共進会で審査委員長の講評を聞いていると、チャンピオンに入賞した牛の顔は、ホルスタインの特徴がよく出ていて実に良い牛であるなどと耳にします。牛をよくみると、1頭1頭が別々の顔をしている。他の動物も1頭1頭が別々の顔をしているのだろうが、我々人間には区別しにくいものもある。人間では一卵性双生児はよく似ていて区別し難い点はあるが、1人1人の顔が違っている。鳥などは、恋の相手を見つけると、どのようにして他の鳥と区別して夫婦になっているのか不思議に思う。

私は小さいときから動物を飼うことが好きで、いろいろな動物を飼ってみたが、鶏などもよく観察すると1羽ずつ異なっている。やさしい顔をしているのもあれば、一見生意気そうな顔をしているものもある。

最近、家畜の顔を見ていると、動物本来の生き生きしている顔が少ないように思われる。本来家畜であるから人間に飼われて、人間の役に立つよう使命づけられている。しかし、最近の家畜は人間の身勝手な余りにも多いのではないかと。

まず酪農では、牛乳出荷基準の脂肪率等を維持出来ないからといって、青草はほとんど与えなくなり、人間が要求している牛乳生産のため、牛の胃が悪くなるような飼料を多く給与している。また、小さいときから狭い牛舎に入れられ、硬いコンクリート床につながれているので、関節炎や乳房炎になり、いかにも苦しい顔をしているようだ。広い草原に放し飼いし、自由に運動させ、日光にもあてればどんなにか生き生きした顔をするだろう。もっと牛に愛情をかけてやりたい。

肥育している牛や繁殖用の和牛は、それぞれの目的で飼われているが、粗飼料の給与が少なく胃腸障害が多発しているし、また市場性の高い子牛生産を旨ざしているため、血統が重視されており弊害も出ているようだ。生まれたばかりの子牛が虚弱児で悲しそうな顔をしているのをみると何とか助けてやりたいと思うが、どうにもならないのが現状である。

獣医師は診断する際に、病気の家畜の顔を見ても、どのような病気か、症状はどの程度進行しているかなど判断することが多い。治療した家畜が生き生きした顔に回復し、畜主から「先生治りました」と言われた時には臨床獣医師として本当の喜びを感じるものである。

(NOSA I 宮城家畜部長 小野敏行)